

第四表ノ八参照

耗症ノ全景現ハル、ニ至ル
 此消耗症ノ他、乳頭ニ限局性消耗症、Partielle Atrophieノ來ルコトアリ殊
 ニ慢性球後外視神經炎ノ後チ乳頭ノ下外側ニ消耗症ノ現ハレ其色
 蒼白ナル者アリ、蓋シザンメルソン、ホッシユス、ウトホフ氏等ノ證擧ニ
 由リ黄斑部ニ注入セル纖維ハ黄斑纖維束トテ特ニ一束ヲナシ、視神
 經ノ後方ニ於テハ其中軸ヲ走レテ前方ニ進ムニ從ヒ外側ニ偏シ遂
 ニ乳頭ノ下外側ヨリ網膜ニ現ハレ黄斑部ニ直行スルヲ以テ球後外
 視神經炎ノ爲メ視神經ハ後方ニ於テ中軸ノ黄斑纖維束專ラ侵サレ、其
 結果トシテ消耗症カ乳頭ノ下外側ニ限發セルナリ

(二) 視神經炎性消耗症

Neuritische Atrophie 本症ハ視神經炎、鬱

血乳頭等ノ後チニ來ル所ニシテ乳頭ハ白色若シクハ帶青白色ニ變
 スレテ炎症性滲濁多少存留スルヲ以テ其色鮮明ナラズ寧ロ汚穢ナリ、
 蓋シ炎症ノ輕ク且經過ノ古キ者ニ在テハ乳頭ハ隨分鮮白ナリ、然レ
 凡純性消耗症ニ於ケルカ如キ乳頭ノ陷凹ハ存在セス、又篩板ノ網膜

第四表ノ六参照

モ亦見ルヘカラス

乳頭ノ境界ハ滲濁ノ爲メ不明ナルノミナラズ又數々不正トナリ、血
 管ニモ炎症ノ損害殘留シ、動脈ハ狹細ニシテ數々血管壁肥厚シテ白
 索ニ化シ僅ニ細々シク血路ノ通スルヲ見ルアリ、靜脈ハ比較的ニ久
 シク保存セラレ怒張迂回スルヲ見ル、乳頭周圍ノ網膜ニモ多少滲濁
 存留ス殊ニ血管ノ道路ニ沿フテ灰白色滲濁遠ク波及ス、炎症ノ退消
 後乳頭ハ全ク皓白トナリテ消耗症ノ全景ヲ呈スルモ視力視野トモ
 全ク回復シテ消耗症ノ狀ニ比シ全ク均勢ヲ失スルアリ心得サルベ
 カラズ

(三) 網膜性消耗症

Retinale Atrophie ハ網膜炎、脈絡膜炎等ノ後チ

ニ來リ其尤モ能ク標本的ナルハ色素性網膜炎ニ見ル所ナリ
 乳頭ハ帶黄赤色或ハ帶黄白色ヲ呈シテ少シク滲濁シ、境界不明ニシ
 テ恰モ雲烟中ニ春月ヲ望ムカ如ク、血管ハ多クハ狹小シ殊ニ動脈ノ
 如キハ細々シク殆ント消ヘナンバカリノ者アリ

本症ハ又黄色消耗
症ノ名アリ

本症ニハ視野狭小、光覺ノ早減等著明ナリ然レモ視力ハ意外ニ能ク保存セラル、アリ

第四章

視神經陷凹

Excavation der Sehnerven

視神經陷凹ニ三種アリ (一)生理的陷凹 (二)緑内障性陷凹 (三)消耗性陷凹

(一)生理的陷凹

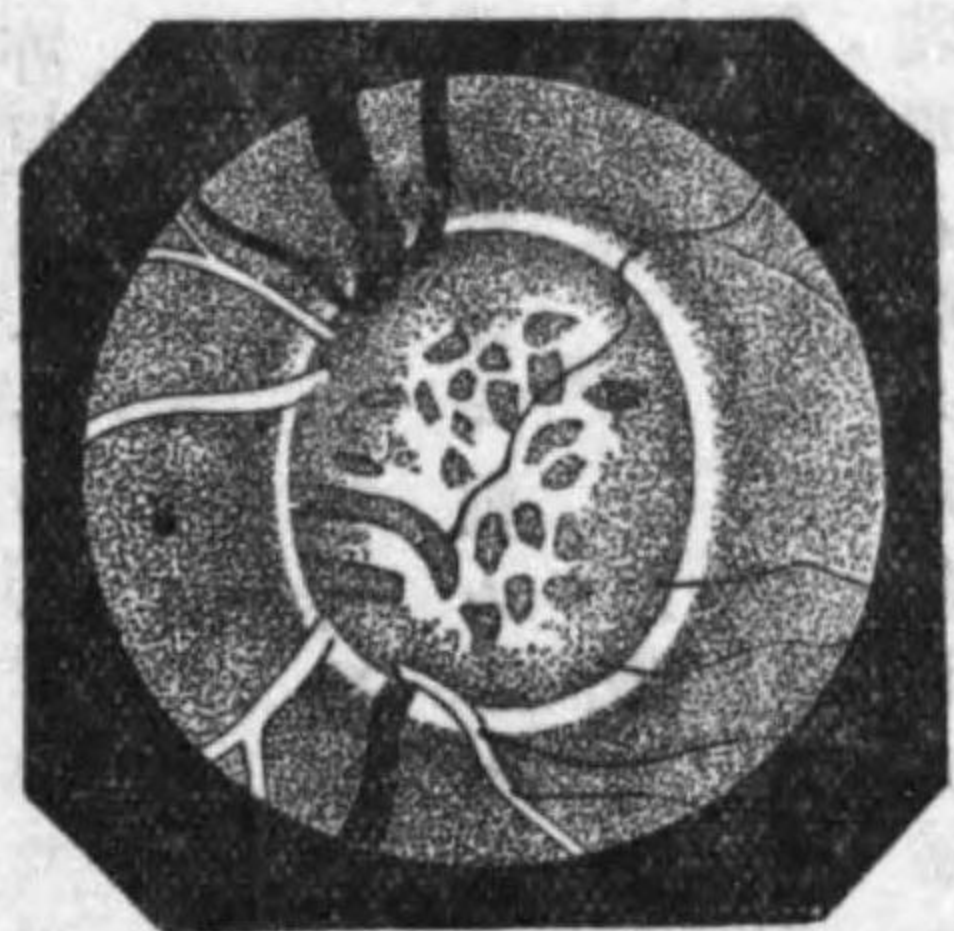
Physiologische Exca-

vation ハ乳頭ノ中央ヲ占メ其大ナル片モ専ラ中央ヨリ外側ニ開大シ、鼻側ニハ多少陷凹セザル部ヲ半月形ニ存留シ乳頭全面ヲ專領スルコトナシ

(二)緑内障性陷凹

Glaucomatöse Ex-

cavation ハ乳頭ノ全面ヲ侵スヲ常ト



第百一十圖

第四表ノ十、十一
参照

ス、(第百十一圖)然レモ其初メテ起ルヤ生理的陷凹部ノ開大ニ基クテ以テ初期ノ際ハ生理的陷凹ノ大ナル者ト區別容易ナラズ、又陷凹ノ形狀モ種々ニシテ漏斗狀ナルモアリ、圓洞狀ナルアリ、又能ク壺狀ニ似テ底面ノ廣キ者アリ、底面モ平坦ナルアリ或ハ血管ノ起根ニ向テ一段深キアリ

血管ハ平常鼻側ニ偏居シ陷凹縁ニ於テ急ニ屈曲シテ網膜ノ平面ニ達ス、殊ニ壺狀ニ擴大セル陷凹ニ於テハ其壁面懸岸的ニ聳ユルヲ以テ若シ網膜血管ヲ逐跡スレバ乳頭縁ニ至テ急ニ斷絶シ、其淵底ヲ平馳セル幹部ハ全ク連續セザルガ如キ觀ヲ呈ス、陷凹ノ淵底ハ網膜面ヨリハ一段深ク没落セルヲ以テ若シ直像法ニ由リ底面ヲ細檢セント欲セバ凹鏡ノ矯正鏡子ヲ用ヒテ檢眼セザル可カラズ、抑モ底面ハ多クハ平面的ニシテ白色若シクハ帶青白色ヲ呈シ血管コ、ニ平馳スルヲ常トス、然レモ若シ底面ニ段落アレハ血管之レニ從テ曲折スルハ勿論ナリ、篩板ノ網眼ハ青色ヲ帶ヒテ點々タル斑紋ヲ呈シ、之ヲ

見ルコトモ亦容易ナリ
 乳頭ノ境界ハ鮮明ニシテ殊ニ鞏膜輪ハ陷凹縁ニ沿フテ皓々ト現出
 シ、又其外圍殊ニ外側ニ於テ經界ノ稍々判然タル帶黃白色或ハ暗白
 色ノ一大暈輪アルアリ之ヲ綠内障性暈輪 Halo Glaucomatosus ト云ヒ
 脈絡膜ノ萎縮ニ基ク所タリ
 終リニ吾人ノ一顧ヲ要スルハ動脈脈搏ナリ、普通健眼ニ於テハ之ヲ
 認ムルナキモ綠内障ニ於テハ眼壓亢進ノ爲メ血管モ壓迫セラレ唯
 タ心臟收縮期ニ於テノミ血壓強キヲ以テ血液カ網膜血管中ニ注入
 シ來リテ脈搏ヲ呈スルニ至レルナリ、陷凹ノ原因ハ眼壓亢進ノ爲メ
 乳頭ノ組織壓迫セラレ、篩板モ甚敷後方ニ沒落セルニ由ル而乳頭ノ
 白色ナルハ半バ毛細管ノ壓迫、半ハ神經ノ壓迫的消耗ニ原由スル者
 ト知ル可シ

(三) 消耗性陷凹

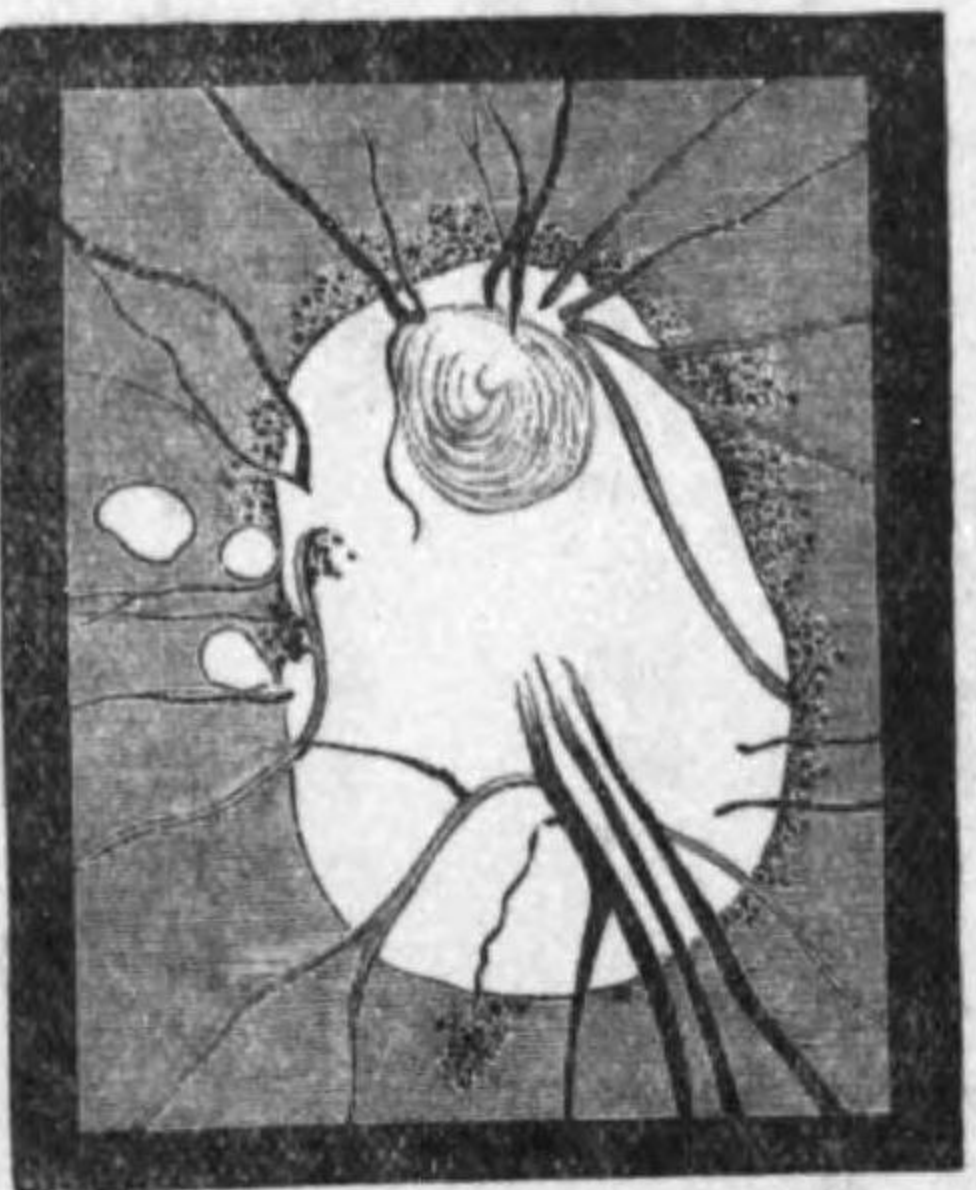
Atrophische Excavation ハ既ニ數々記載シタレバ多
 言ヲ要セズ其色ハ白色或ハ灰白色ニシテ陷凹ハ淺ク、血管ハ乳頭縁

ヨリ漸々下行セルニ由テ之ヲ知ル
 只診斷上數々困難ナルハ濶大ナル生理的陷凹アル乳頭ニ消耗症ノ
 加ハリシ時ニノ其狀殆ント綠内障性ノ陷凹ト能ク類似シ、他ニ著明
 ノ證據ナキハ鑑別頗ル困難ナリ、予ハ又視神經ノ消耗ニ綠内障ノ
 加ハリタル者ヲ見テ記憶ニ未タ忘レ得ザルナリ

第五章 先天異常

(一) 視神經缺損症 Coloboma

nervi optici (第百十二圖) ハ二様ニ
 ノ (一) 限局性ノ者ハ乳頭ノ下
 部深カク陷沒スルヲ云フ (二)
 完全性ノ者ハ乳頭四五倍ノ大
 ニ擴張シテ陷沒シ周縁不正ナ
 レモ判然ニノ數々色素ノ堆積



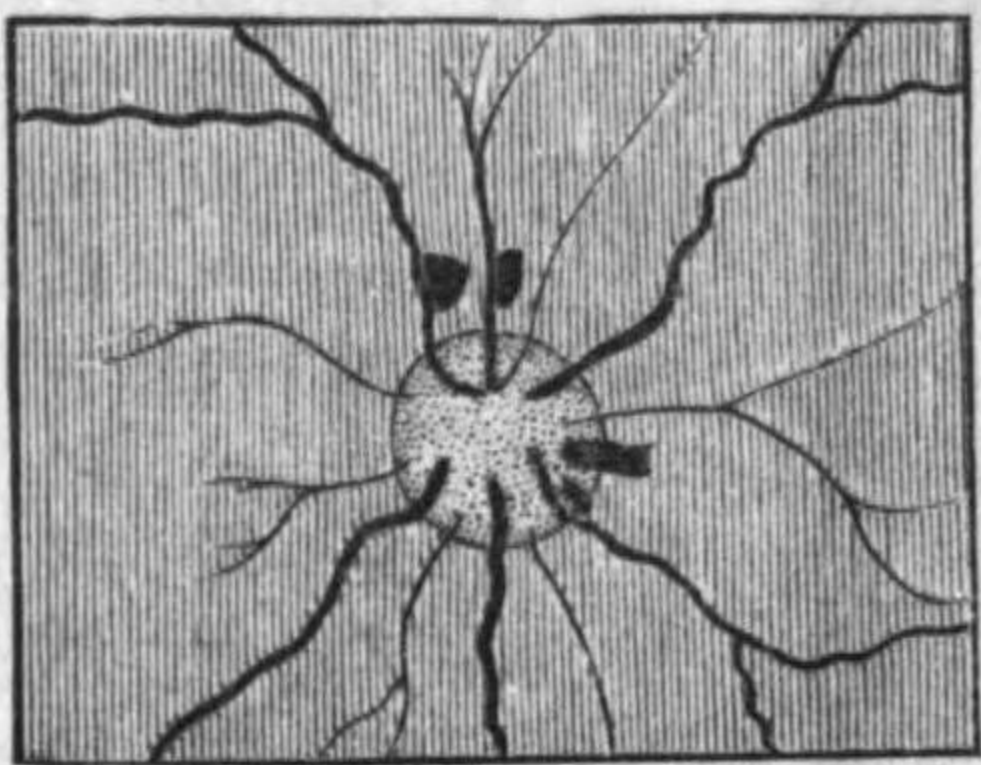
圖二十百第

甚シ、血管ハ陥没ノ底面ニ起リテ周壁ヲ躋登シ曲折シテ網膜面ニ達ス、之カ爲メ時トシテ線内障ノ陥凹ト誤ルコアリ

附 録

(一) 視神經鞘間腔中ニ出血來ルアレハ(第百十三圖)視神經及ヒ其中心血管ハ壓迫ヲ蒙リ、其結果トシ視力ハ急ニ減降シ、網膜ハ血栓ト同シク急ニ貧血症ヲ呈シテ動脈ハ大ニ狹小ス、然レモ靜脈ハ壓迫ノ爲メ反テ稍怒張ス、其他乳頭線ニ接シ出血ヲ見ル是レ鞘間腔ヨリ淫浸シ來テコ、ニ現ハレシ者ナリ、時トシ又血液ハ網膜ト脈絡膜ノ間ニ來リ、其大ナルヤ網膜ヲ破テ硝子體ニ來ルアリ極ク罕ナレモ亦出血ハ視神經中ニ來リ中心血管ヲ沿ヒ乳頭面ニ現出スルアリ

(二) 視神經ノ損傷セラル、ヤ早晚乳頭消耗症ヲ呈ス、若シ夫レ眼球ニ接シテ視神經損傷セラルレハ眼底ハ急ニ貧血症ヲ現ハシ兩三日ニシテ血行復々回復シ、一時健康ノ如シ、然レモ久シカラズ



第 百 三 十 圖

本圖ハ予カ實驗セ
ル一患者ニ就キ抽
寫セル者ナリ

本症ハ日本ニ數々
實驗ス

乳頭灰白色ヲ呈シテ消耗症ノ全景ヲ現出ス、之レニ反シ若シ視神經ノ後部ニ於テ損傷セラレ中心血管負傷セズンバ乳頭ハ初十二日間程ハ變色ナキモ其後ニ至リ次第ニ消耗症ノ徵ヲ呈出ス

視神經力彈丸等ニ由テ大ニ負傷セル時ハ乳頭近隣ニハ大ニ出血アリ其終リヤ一大癍痕ヲ結造シ乳頭ハ爲メニ全ク被覆セラレ網膜血管ハ半ハ破毀セラレ、眼底ハ一大荒壞ヲ呈ス

(三) 視神經ノ腫瘍ハ肉腫、粘液腫、纖維腫等ナリ、而其乳頭ニ及ホセル影響ハ消耗症ナルカ、乳頭炎ナリ或ハ單ニ鬱血症狀ヲ現ハスニ過キス

人間末後ノ眼底

千八百六十年佛人ブシュ氏初メテ眼底ノ死相ヲ注意シ其屍體檢案ニ必要ナルヲ注告セリ、爾後メニエ氏ボンセ氏ガレッツヲスキ氏ガエ氏等ノ報告アリタリ

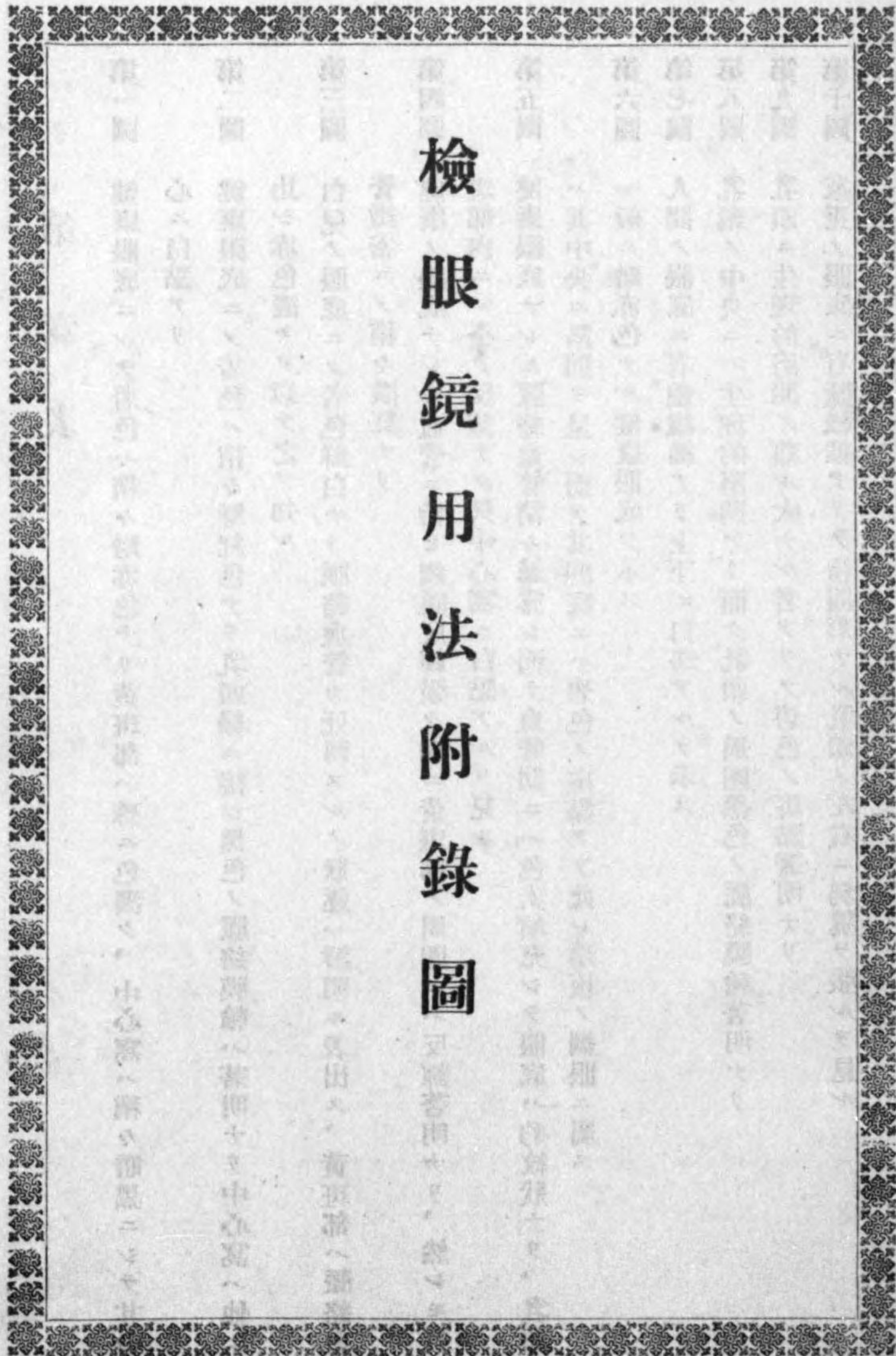
死後眼底ヲ檢セント欲セハ一二時間ヲ過グベカラズ、之ヲ過グレバ角膜及水晶體共ニ溷濁シテ眼底徹見スベカラズ、故ヘニ検査ハ死後成ルベク早ヤキヲ可トス

眼底ノ死相ハ乳頭蒼白トナリ、動脈狹小シテ幾ト見ルベカラス、靜脈ハ平常ノ如クナルカ或ハ狹小ス殊ニ乳頭上ニ於テ甚シ、周圍ハ血流猶多小充實シ間々彼此ニ支離分裂セル血路ヲ認ムベシ、網膜ハ中心血管ノ血栓同様一面ニ灰白色ノ溷濁ヲ呈ス、ガエ氏ハ斷頭ノ刑人ニ於テ黃斑部ニ例ノ血色點サエ見タリト云フ

予ハ明治二十四年一月十六日ノ夕愛兒重雄ノ死スルニ當リ涙ヲ拂テ早々眼底ヲ檢シ所見ハ醫事集報ノ初刊ニ載セタリ、恐ラク是レ日本ニ於テ所謂人間末後ノ眼底カ檢セラレ又記セラレタル初メナレハ事私事ニ屬スルモ後世歴史ノ爲メ爰ニ一筆記シテ置ク

檢眼鏡用法終

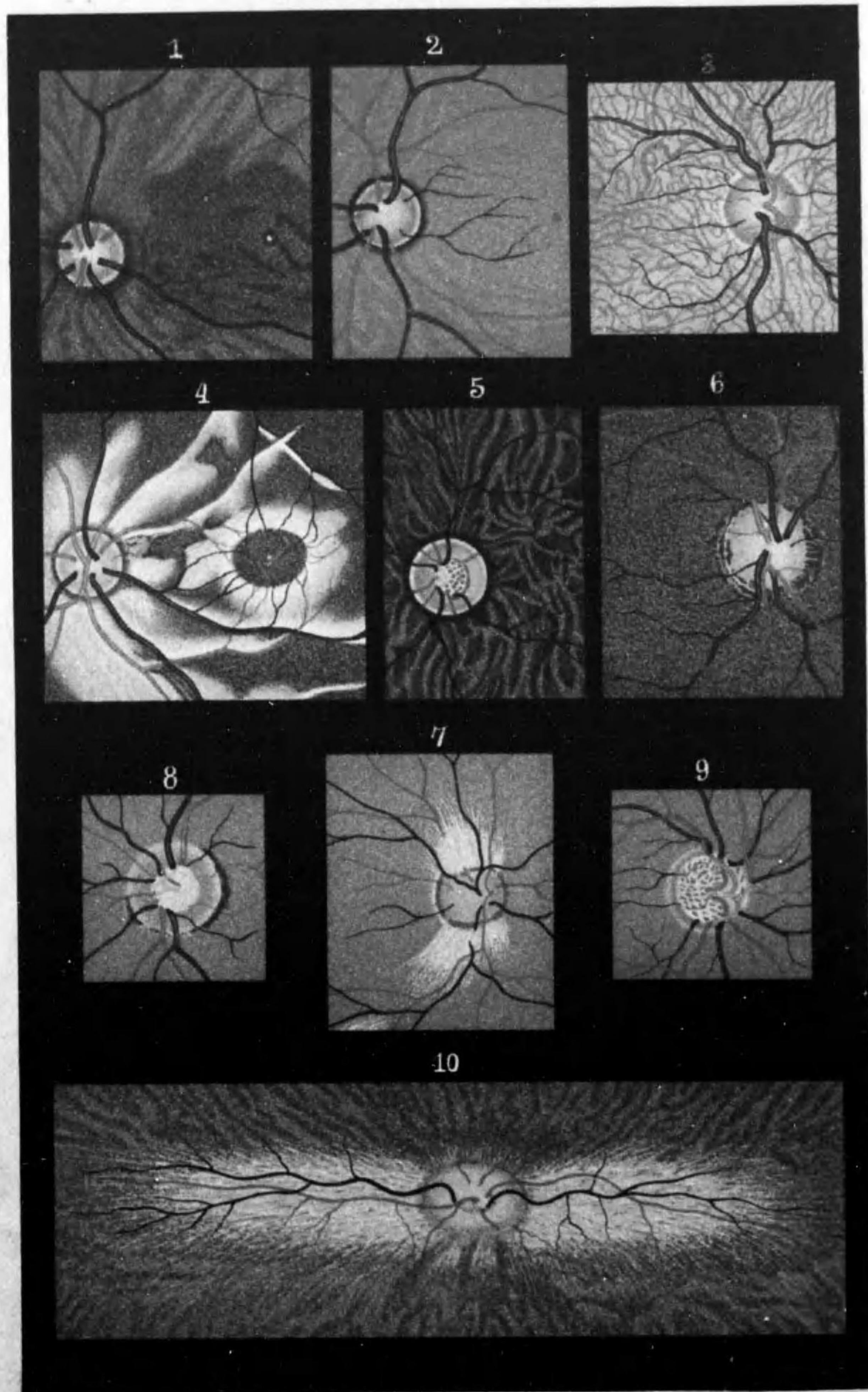
檢眼鏡用法附錄圖



第 壹 表

- 第一圖 健康眼底ニシテ着色ハ稍々暗赤色ナリ黄斑部ハ殊ニ色濃ク、中心窩ハ稍々暗黒ニシテ其中心ニ白點アリ
- 第二圖 健康眼底ニノ着色ハ稍々鮮紅色ナリ乳頭縁ニ接シ黑色ノ脈絡膜輪ハ著明ナリ中心窩ハ他ニ比シ赤色濃キヲ以テ之ヲ知ル
- 第三圖 白兒ノ眼底ニノ着色鮮白ナリ脈絡血管カ迂回スルノ狀逐一鮮明ニ表出ス、黄斑部ハ脈絡血管緻密ニノ稍々濃紅ナリ
- 第四圖 健康ノ眼底ナレモ血管ニ沿ヒ網膜反輝強ク殊ニ黄斑部ノ周圍ニハ反輝著明ナリ、然レモ黄斑部内ニハ全ク反輝ナク只中心窩ニ白點アルヲ見ル
- 第五圖 健康眼底ナレモ脈絡血管稍々暴露シ而テ血管間ニハ色素填充シテ眼底ハ豹紋狀ナリ、乳頭ハ其中央ニ陷凹ヲ呈シ而テ其凹底ニハ碧色ノ斑點アリ此レ篩板ノ網膜ニ屬ス
- 第六圖 一般ニ暗赤色ナル健康眼底ヲ示ス
- 第七圖 人間ノ眼底ニ有髓纖維アリ上下ニ白斑アルヲ示ス
- 第八圖 乳頭ノ中央ニハ生理的陷凹アリ而テ乳頭ノ周圍黑色ノ脈絡膜輪著明ナリ
- 第九圖 乳頭ニ生理的陷凹ノ頗ル大ナル者アリテ碧色ノ斑點著明ナリ
- 第十圖 家兔ノ眼底ニ有髓纖維アリテ楕圓形ナル乳頭ノ左右ニ羽翼ヲ張ルヲ見ル

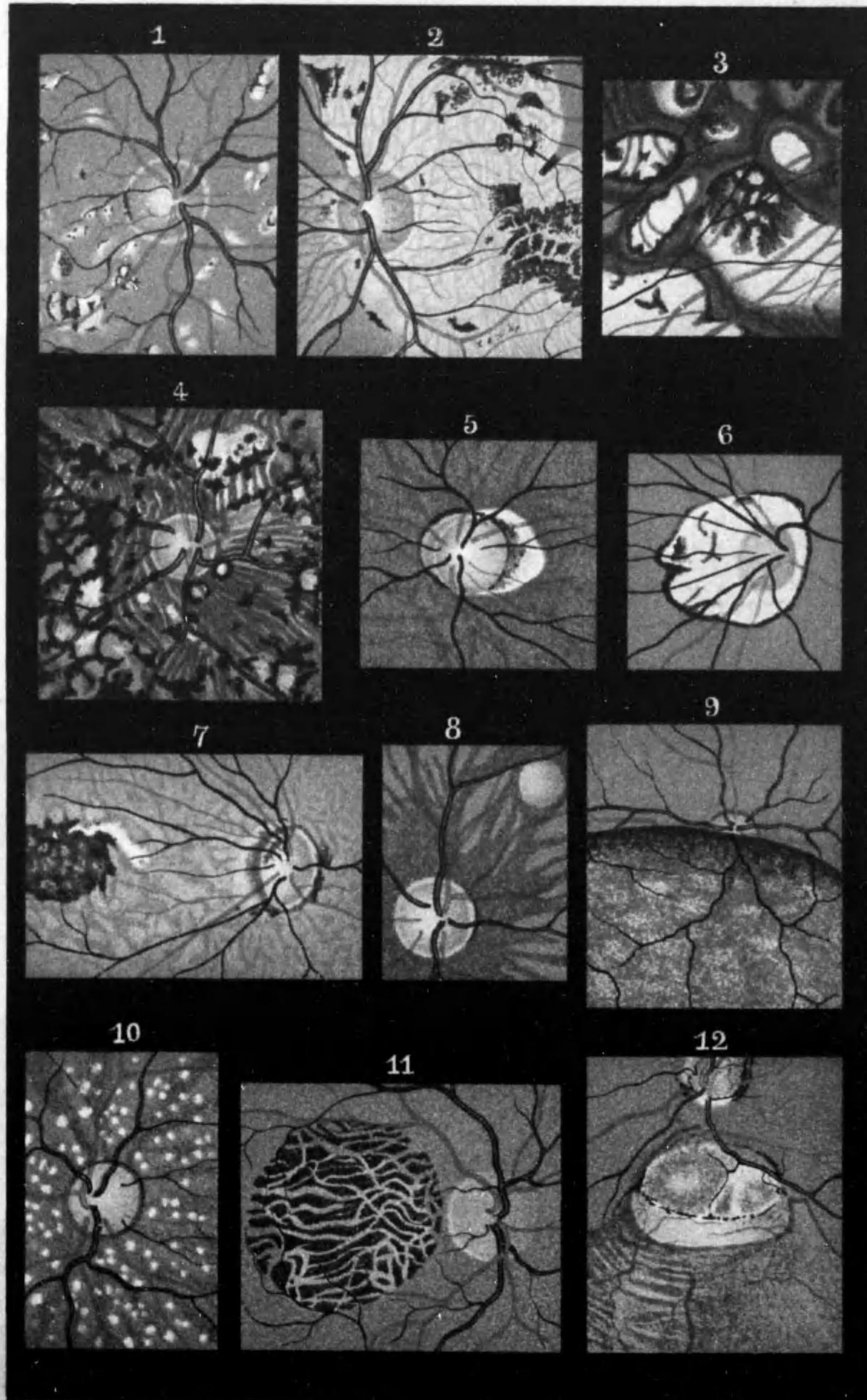
表壹第



第貳表

- 第一圖 散在性脈絡膜炎ニノ帶黃白色ノ不正ナル斑點ト色素相混シテ散在ス
- 第二圖 汎發性脈絡膜炎ニノ色素ハ大部消退シテ脈絡膜暴露シ其底面ニハ脈絡血管ノ蛇蛇セルヲ見、又色素ノ不正ナル片塊所々ニ散在ス
- 第三圖 陳舊ノ脈絡膜炎ニノ灰白色ノ斑點ハ大小存在シ、斑點ノ周圍ニハ、色素輪廓シ、而テ斑中ニハ脈絡血管ノ走行セルヲ見ル
- 第四圖 此レモ亦陳舊ノ脈絡膜炎ナレモ白斑ヨリハ色素ノ増殖盛ニノ其種々ナル紋形ヲ畫スルヲ見ル
- 第五圖 後葡萄腫ニノ乳頭ノ傍側ニ「コーヌス」存在ス
- 第六圖 乳頭ヲ圍テ所謂輪狀「コーヌス」アリ、乳頭ハ縱ニ楕圓形ニノ網膜血管ハ一方ニ偏走ス、「コーヌス」ハ不正ニシテ色素其縁ニ堆積シ脈絡血管ノ殘片兩三斑中ニアルヲ見ル
- 第七圖 高度近視ノ眼底ニノ乳頭ハ楕圓形ニシテ其傍ニハ輪廓不明ノ「コーヌス」アリ、黃斑部ニハ色素ノ増殖セルヲ見ル
- 第八圖 結核性脈絡膜炎ニノ帶黃白色ノ圓斑ハ是レ結核ノ坐セル所タリ
- 第九圖 色素性肉腫ノ隆起シテ網膜血管其上ヘヲ走ルヲ見ル
- 第十圖 脈絡膜ニ硝子疣アリテ皓々タル白點散在スルヲ見ル
- 第十一圖 黃斑部ノ脈絡膜炎ニノ色素消退シ硬化セル帶黃白色ノ血管暴露スルヲ見ル
- 第十二圖 脈絡缺損症即「コロボム」ノ大ナル者眼底ノ下方ニアリ網膜血管ハ「コロボム」ヲ避ケテ其周圍ヲ走り、又「コロボム」ノ中ニハ脈絡血管ノ迂走セルヲ見ル

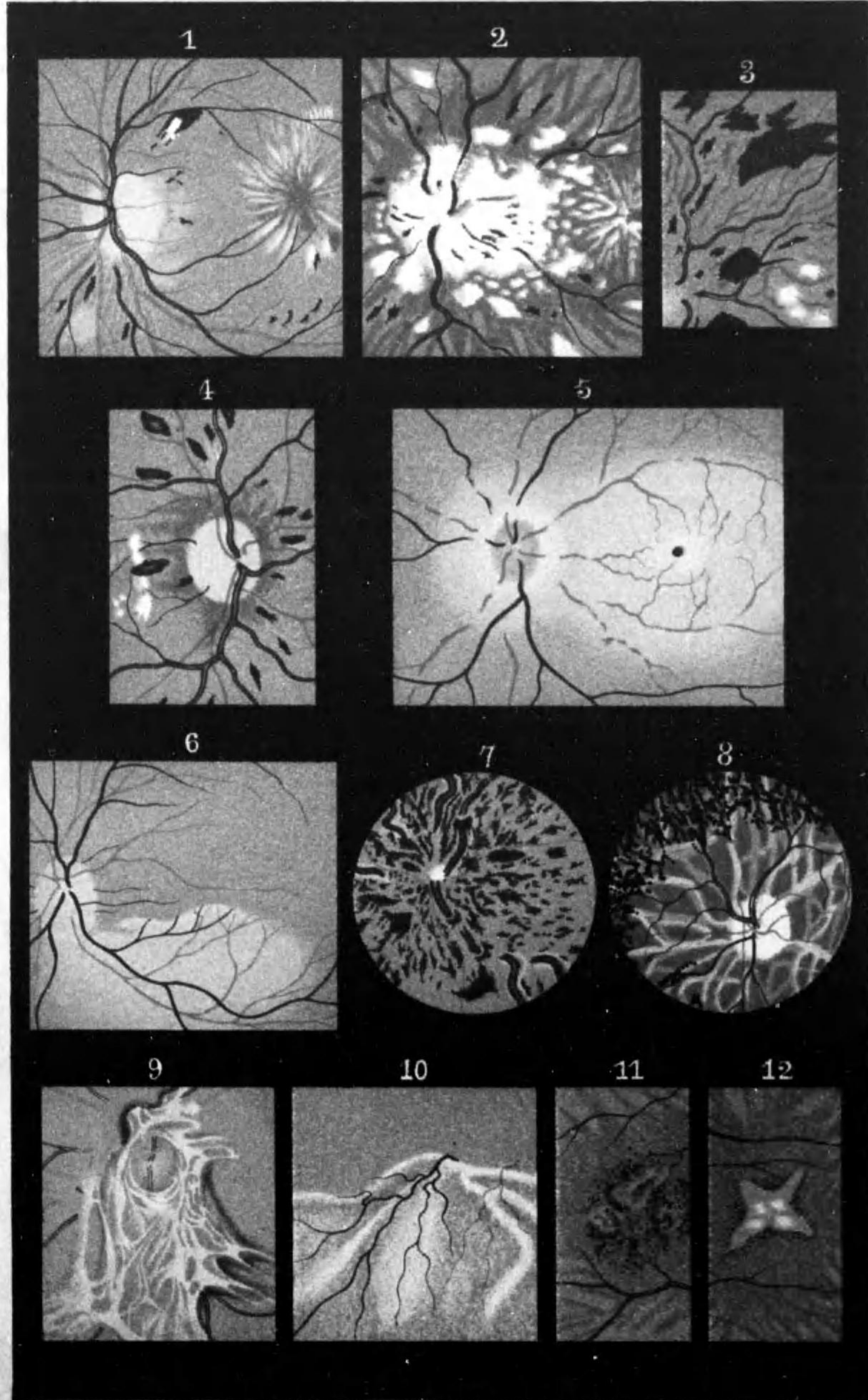
表貳第



第三表

- 第一圖 蛋白尿性網膜炎ニ乳頭ハ少シク朦朧トシテ境界不明ナリ、乳頭ノ周圍ニハ白斑及血點數許散在ス然レモ最モ美麗ナルハ黃斑部ニ於ケル放線狀ノ白紋ナリ
- 第二圖 蛋白尿性網膜炎ノ乳頭近隣一面ハ白斑ニ占有セラレ恰モ牛乳ヲ塗布セルカ如シ、而テ其周圍ニモ白斑點々所々ニ散在ス、黃斑部ニハ放線狀ノ白紋アリ
- 第三圖 網膜出血ノ狀ヲ示ス
- 第四圖 惡性貧血患者ニ於ケル網膜出血ノ狀ヲ示ス者ニ數許ノ白斑アル外數多ノ血斑アリ、斑中ニハ又白點ノアルアリ
- 第五圖 中心動脈ノ血栓ヲ示ス者ニシテ眼底ニハ灰白色ノ溷濁アリ、中心動脈ハ狹少ナレモ溷濁上ニ反ヘツテ著明ニ特出ス、黃斑部ニハ溷濁甚シク、平素見ルベカラザル血管迄モ了々逐視スルヲ得、又中心窩ニ血赤色ノ斑點アリテ著明ナリ
- 第六圖 中心動脈ノ分岐後其下幹ニ血栓着留セル爲メ眼底下半專ラ溷濁スル狀ヲ示ス
- 第七圖 中心靜脈ノ血栓ニシテ眼底一面ニ血斑散在シ靜脈怒張迂回セル狀ヲ示ス
- 第八圖 色素性網膜炎ニ色素周圍ヨリ起リ乳頭ハ已ニ消耗症ノ狀ヲ呈シ脈絡膜ハ全般ニ萎縮シテ其脈絡血管帶黃色或ハ白色ニ暴出スル狀ヲ示ス
- 第九圖 增殖性網膜炎ニ癥痕様ナル帶青白色ノ結締織アリ網膜面ニ聳ユルヲ見ル
- 第十圖 眼底ノ下方ニ灰白色ノ網膜剝離アリテ多少皺襞ヲナシ其面ヲ越ヘテ網膜血管ノ蛇走スル狀ヲ示ス
- 第十一圖 眼ノ打撲後黃斑部ニ續發セル些少ナル色素異狀ヲ示ス
- 第十二圖 老人ニ於ケル黃斑部ノ色素異狀ヲ示ス

表 三 第

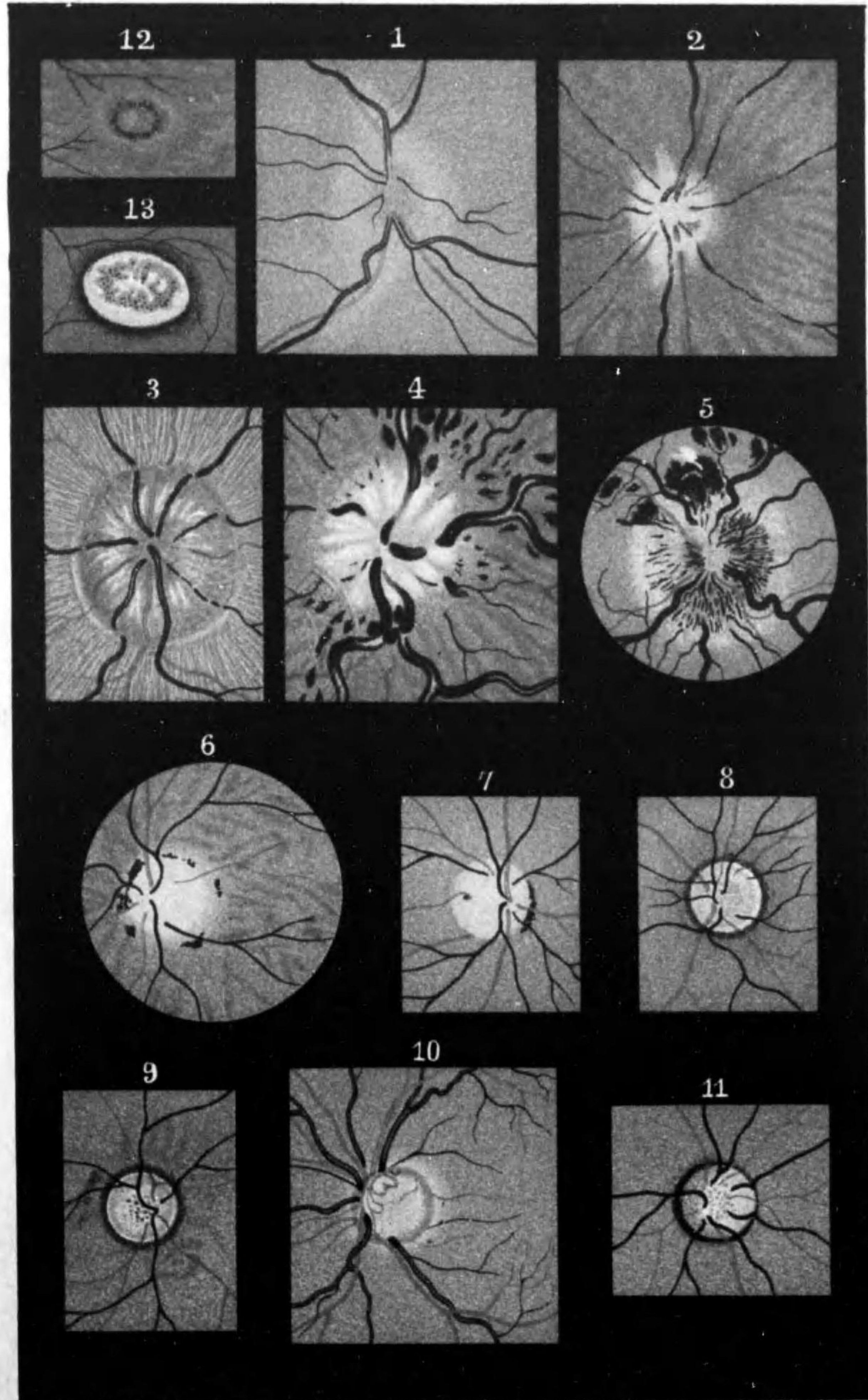


別印斯版居配次德標零町鏡本區種水日衆東

第四表

- 第十二圖 老人ニ於テ黃斑部ノ色素變狀ノ稍々大ナル者ヲ示ス
- 第十三圖 此レモ同患者ノ黃斑部ニ於テ六ヶ月後色素ノ變狀大ニ進歩シテ眞ノ脈絡炎迄テ進ミシ者ヲ示ス
- 第一圖 視神經炎ニ乳頭ノ濁濁セル者ヲ示ス
- 第二圖 梅毒性ノ視神經網膜炎ニ乳頭ノ薄スク朦朧トシテ經界ノ不明ナル狀ヲ示ス
- 第三圖 鬱血乳頭ニ乳頭ハ甚シク膨起シテ血管ノ其上ニ怒張迂回セル狀ヲ示ス
- 第四圖 眼窩腫瘍ノ爲メ乳頭ノ膨起シ血管ノ甚シク怒張シ出血ノ所々點綴セル狀ヲ示ス
- 第五圖 此レモ亦鬱血乳頭ナレモ其面ニ多クノ新生血管アル狀ヲ示ス
- 第六圖 視神經炎後ニ於ケル視神經ノ消耗症ニ乳頭白色ナレモ經界ハ不明ニ色素輪ハ不正ニ現出シ、血管ハ靜脈太ク動脈細キヲ見ル
- 第七圖 乳頭ハ白色ニシテ經界明瞭ナリ是レ視神經ノ障礙ニ續發セル視神經消耗症ナリ
- 第八圖 灰白消耗症ノ初起ニシテ乳頭ノ外側一部灰白色ニ變セルヲ示ス
- 第九圖 此レハ前者ノ進歩セル者ニ乳頭ノ全般灰白色ニ變ジ、帶綠色ノ斑點モ著明ニ現出シ、又乳頭ノ經界モ判明ニノ鞏膜輪及脈絡膜輪共ニ著明ナリ
- 第十圖 綠内障ニ於テ乳頭陷凹シ血管其綠ニ於テ急ニ沒落シ陷凹ノ底面ヲ走ルヲ見ル、乳頭周圍ニ白色ノ暈輪アルハ是レ綠内障性暈輪ナリ
- 第十一圖 此レハ綠内障ノ初期ニ於テ乳頭ノ外側面ニ陷凹ノ起ラントスル狀ヲ示ス

表四第



刷印版后部次福福高巧銀夾區標本日常真

明治三十年十月廿三日印刷
全三十一年十月三十日發行
明治卅五年九月廿一日印刷
全卅五年九月廿四日再版發行

版權
所有

著者兼發行者

河本重次郎

東京市麴町區富士見
町四丁目四番地

印刷者

中村政吉

同市京橋區三十間堀
三丁目拾番地

印刷所

報文社

右同所

正價金壹圓五拾錢



55
16

終